



沖縄戦をダンスで表現する演劇「空に溶けゆく言葉のかけら」  
日、那覇市牧志・ひやみかちマチグワール館（下地広也撮影）

# 沖縄戦の体験伝えるダンス

## りっかりっか\*フェスタ開幕



「第15回りっかりっか\*フェスタ (2018国際児童・青少年演劇フェスティバルおきなわ)」(主催・エーシーオー沖縄、同フェス実行委員会、共催・沖縄タイムス社など)が22日、開幕した。那覇市の新都心地域を中心に18会場で国内外の舞台作品が上演される。29日まで。  
同市のひやみかちマチグワール館では、沖縄戦を経験した女性らが、自身の体験をダンスで伝える「空に溶けゆ

く言葉のかけら」(シージャダンスプロジェクト)の公演があった。親子連れや観光客など約120人が、ダンスやバックバンドの演奏を真剣に見つめていた。  
パフォーマーで、フィリピンから来たニッキー・シマフランカさん(28)は、「沖縄戦の悲しさを伝えるシーンもあったが、最後は明るく終わっていた。沖縄の人の、前に進もうという気持ち伝わった」と話した。